

# 加 佐

学校だより 3月号

令和2年3月2日

舞鶴市立加佐中学校

TEL 83-0004 FAX 83-3201

http://kasa.maizuru.ed.jp/



## 啓蟄の候



「冬ごもりを終えて昆虫やカエルたちが顔を出す季節」となりました。保護者・地域の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育の推進に格別のご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。またPTA本部役員並びに企画委員の皆様方には、1年間大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

本年度の登校日もあと16日・・・でしたが、国を挙げての新型ウィルス対応策として総理大臣より「春休みまでの臨時休校の要請」を受け、体制を整えているところです。

3月6日には公立高校中期選抜を控えています。全ての生徒が進路希望を実現して素晴らしい4月を迎えるために万全の態勢で支えます。

## ちょっと待って！ スマホ時代のキ達ちへ～

こちらは、あるHPの生徒向け啓発ページです。ところで、スマホといえば、しばらく前にとある県議会で「子どものゲーム使用は1日60分まで」「中学3年までは、スマホ使用は夜9時まで」というルールを家庭で順守するよう保護者に求める条例素案をまとめている、という記事を目にしました。同じ記事を見て「えっ!?!」となった生徒もいたかもしれません。

WHOが一昨年「ゲーム障害」を依存症として位置付けたこととも無関係ではないでしょう。以下の4つの項目が続く差し迫った状況は、依存症が疑われるとされています。

- ◆ゲームの使用を制御できない。◆ゲームを最優先する。◆問題が起きてもゲームを続ける。◆ゲームにより個人や家庭、学習や仕事などに問題が生じている。

これらの文章の「ゲーム」の部分、他の特定の物質や限られた行動等に置き換えた状況も考えられます。保健教育にかかわる講座で次のような例が示されました。毎日平均2時間20分スマホを触ると仮定すると年間で**851.6時間**になります。これは、文部科学省が定める中学校における1年間の標準授業時間数**845.8時間**を上回ります。恐るべし、日々の積み重ねは侮れません。

**(140分×365日=51,100分) スマホ使用 > 全授業 (50分×1,015校時=50,750分)**

平均2時間以内の使用なら超えないよ、という話題ではありません。講座では、長く小児科医療に携わる専門医の立場から、次のように述べられました。

～長時間の使用による目や脳などへの影響や依存症も然り、スマホ等のメディアに長時間接する子どもの年齢が低ければ低いほど、発達の機会を阻害する様々な危険性が一層高まります。したがってメディア機器に割く時間を、できる限り実体験を伴う多様な経験や人と人とのかわり、良質な睡眠、何より家族とのあたたかなふれあいに重きを置くべきです。～スマホ等による子どもの課題は、大人の課題なのです。講座は、このように締めくくられました。

ICT活用を推進する今日だからこそ、本校でも健全な情報リテラシー・メディアリテラシーの育成を含めて、あらゆる学習活動をバランスよく配置し、生徒がお互いに信頼関係を高める互恵的で協同的な学び(コラボ学習)の充実に一層励まなくてはならないと改めて感じました。

職員が生徒一人一人を深く理解して寄り添った指導ができるよう、小さな変化にも気付くことができる力を備え、豊かな人間性と高い専門性に基づく優れた指導力により、全ての生徒が未来を切り拓いていけるよう、それぞれの個性や能力を最大限に伸ばす教育に努めています。保護者・地域の皆様方の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

舞鶴市立加佐中学校 校長 福本 浩介 教職員一同

